

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕（経営者）	・外国人観光客による売上は9月末時点でまだ85%の落ち込みとなっているが、全体売上は前年比75.2%で済んでいることから、今後の売上は良くなる。
		商店街（代表者）	・北海道胆振東部地震の影響も徐々に緩和されることになるため、今後についてはやや良くなる。風評被害の払拭や政府の国土強靱化に向けた具体的な対策に期待したい。
		商店街（代表者）	・9月は北海道胆振東部地震、ブラックアウトという特殊要因があったが、根本的には普通の状態に戻っていることから、今後についてはやや良くなる。
		商店街（代表者）	・これから青果物の出荷が最盛期を迎えることから、このまま台風の影響を受けなければ景気はやや良くなる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・北海道胆振東部地震後に落ち込んだ来客数も、今後大きな余震がない限り、徐々に増えてくることになる。また、今後、北海道ふっこう割や民間による様々なサービス、割引を提供することになれば、外国人観光客も含めて北海道を訪れる観光客は回復することになる。
		百貨店（担当者）	・今後についてはクリスマス商戦や年末商戦が始まることで、控えられていた消費動向が幾分か活性化することになる。
		百貨店（販売促進担当）	・ウインターシーズンに向かうなか、徐々に景気が回復してくることになる。一時的に落ち込んだ外国人観光客も次第に回復し、年末から年始にかけて北海道胆振東部地震以前の水準まで戻るとみられる。
		スーパー（店長）	・食品が競争店も含めて上向き傾向になってきていることから、今後についてはやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・前年よりもサンマ漁の動向が良く、売上に好影響が出ているため、今後についてはやや良くなる。
		家電量販店（経営者）	・季節要因による売上増が見込めるため、今後についてはやや良くなる。ただし、そのほかの要因は特に見当たらない。
		家電量販店（店員）	・今後については暖房器具への期待があるほか、防災関連商材の入荷状況によって来客数の増加が期待できる。
		自動車備品販売店（店長）	・9月の冬タイヤ購入は前年の80%台であったが、北海道胆振東部地震の影響で購入がずれこんだためとみられる。徐々に来客数も伸びてきているため、9月分の落ち込みは10月に取り戻すことができる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・北海道胆振東部地震で一旦落ち込んだ国内客の宿泊が回復傾向にある。また、9月に休止した大会やイベントが延期開催されることもプラス要因である。一方、外国人観光客の宿泊については、年内は例年の20%前後に落ち込んでいる。
		旅行代理店（従業員）	・北海道ふっこう割の導入など、北海道観光復興策やプロモーション活動などが活発化しているため、冬季観光、特に流水シーズンに国内客、外国人観光客が戻ってくることが期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・北海道胆振東部地震への対策として北海道ふっこう割が閣議決定されることになれば、限定的かもしれないが景気が上向き可能性がある。
		通信会社（企画担当）	・節電要請が10月中に終了すれば、反動で消費行動も上向きと期待している。都市圏の販売店舗からもそのような客の動向が期待できるとの声が多く聞こえている。
		商店街（代表者）	・今後については年末大売出しなどで来街者が増加するが、燃料の値上がりによる暖房費の負担増なども考慮すると、例年以上に客の財布のひもが緩くなる可能性は低い。また、季節限定商材も買い控えの傾向にあるため、現状と変わらないまま推移する。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	・問屋からの納入が遅れている商材がまだまだみられる。特に北海道に工場を持っているメーカーでは欠品状態が続いており、通常の状態に戻るまでまだ時間が掛かる。商材の供給体制が回復していないことから、景気が上向きになるとは考えにくい。	
	百貨店（役員）	・10～12月は北海道胆振東部地震、停電といった特殊要因の影響から脱却するとみられるが、その後の状況が読みづらい。	
	百貨店（営業販促担当）	・商材により好不調が異なる傾向はしばらく続く。衣料品などの高価格帯の商材は苦戦し、食品、化粧品、雑貨などは堅調に推移するとみられる。	
	スーパー（店長）	・これから冬の季節に入るが、防災意識の高まりもあり、必要な商材以外の購入は控えるとみられるため、節約志向は依然として変わらないまま推移する。	

スーパー（店長）	・変動要因が見当たらないため、今後も景気は変わらない。
スーパー（店長）	・ここ数年、当店の売価について他企業の競合店と比べて負けていることから、客離れが相当進んでいる。ただし、今は市場が飽和状態となっており、競合店の出店も最近はないため、景気は変わらないまま推移する。
コンビニ（エリア担当）	・北海道胆振東部地震の影響で売上が下がったままであるため、この先の見通しは全く分からない。
衣料品専門店（店長）	・北海道胆振東部地震の影響がまだ続くとみられる。
乗用車販売店（経営者）	・北海道胆振東部地震により店舗が被害を受けたことに加えて、停電により2日間の全社休業を余儀なくされたが、月間では前年並みの受注を獲得できていることから、今後も堅調な新車販売が期待できる。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・北海道胆振東部地震は身の回りを見直す機会になった面があるが、観光業を始めとして景気はしばらく停滞しそうだ。
旅行代理店（従業員）	・来客数、販売単価共に横ばいで推移していることから、今後も変わらない。
タクシー運転手	・11月には市長選挙があるため、現行のムードと余り変わらない状態で推移する。
通信会社（社員）	・年内はこのままの状態推移しそうである。
観光名所（職員）	・8月までは前年並みで推移していたが、北海道胆振東部地震の発生により9月以降の悪化が見込まれる。特に外国人観光客への影響が継続することが懸念される。1社単独ではどうすることもできないため、国や北海道全体での復興PRなどに期待したい。
美容室（経営者）	・今回の北海道胆振東部地震による身の回りへの影響は余りなく、客の様子も落ち着いているため、今後も余り変化のないまま推移する。
その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・観光最盛期を過ぎたこともあり、今年中の大きな回復は見込めない。
住宅販売会社（経営者）	・今後、北海道胆振東部地震の影響による観光客の減少などを通じて、北海道経済における所得の低下が懸念される。所得の低下は分譲マンション需要の縮小につながる恐れがある。
商店街（代表者）	・北海道胆振東部地震による停電後の節電要請により、街中のネオンや看板が消え、当店も減光を余儀なくされた。このような雰囲気は消費にも大きな影響を与え、大幅な販売量の減少が発生した。節電の数値目標を取りやめた後は、商店街などでは全点灯を行っているが、大型店や一部チェーン店などでは今でも過度な節電を行っており、いまだに暗い雰囲気を漂わせている。消費を減退させるような過度な節電行為には疑問があり、消費者心理を変な方向に誘導しないようにしてほしい。
百貨店（売場主任）	・日本人の購買マインドの低下は、今後3か月から半年程度は続くと思われる。また、外国人観光客の低迷は来年の中国の春節の時期まで続くと思われる。これらのことから今後の景気はやや悪くなる。
スーパー（企画担当）	・震災関連商材以外の需要の停滞に加えて、ガソリンや灯油の価格上昇による家計の圧迫要因などもあり、今後の需要動向が厳しくなることを懸念している。
スーパー（役員）	・北海道胆振東部地震前と現在の商材の入荷量を比較すると全体では90%以上まで回復している。携帯ガスボンベ、電池、飲料水などの備蓄品は今でも入荷があれば売れているが、ほぼ落ち着きを取り戻している状況にある。今後は、10月前半から家庭内在庫の調整が始まるとみられ、年末に向けての支出は震災以前と同様にシビアになるとみられる。
スーパー（役員）	・北海道胆振東部地震による震災特需の反動が懸念される。また、観光客の落ち込みなどにより、街全体の消費が落ち込む傾向が生じることになる。
コンビニ（エリア担当）	・北海道胆振東部地震があり、金銭的にも精神的にも大きな打撃を受けている。今後はハロウィーン、ポジョレーヌーヴォー、クリスマスと企画が続くが、客が余分な商材やし好品を購入する心理にならないとみられる。
乗用車販売店（経営者）	・北海道胆振東部地震の影響もあり、消費者のマインドも沈みがちであり、今後の販売に多少なりとも影響が出てくる。
乗用車販売店（従業員）	・年末に向けて市場が小さくなるため、それに伴い販売量も落ちることになる。

	乗用車販売店（従業員）	・北海道の場合、これから寒くなり、タイヤ交換の時期が一段落すると客の動きが鈍くなる。このため、今後については10～11月こそ一定の来場者があるが、12月はかなり減少することになる。北海道胆振東部地震の影響もあって、活気あふれる状況は期待できないことから、今後の市場の動きとしてはやや下向きになる。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・原油価格も高騰しており、景気を上向かせるような良い材料がない。
	その他専門店〔造花〕（店長）	・農産物の関税引下げが懸念されるほか、し好品の購入意欲の低下が見込まれることから、今後の景気はやや悪くなる。
	高級レストラン（経営者）	・天候不順や北海道胆振東部地震の影響で景気がこれからやや悪くなることを懸念している。秋にかけて野菜などの高騰が見込まれるほか、観光客の減少も続くため、飲食業の立場としては不景気が見込まれる。
	高級レストラン（スタッフ）	・しばらくは景気の良くない状態が続くそうである。北海道胆振東部地震の影響で客が来ないため、仕入れは少なくすることで対応できるが、スタッフを早く終業させるにも限度がある。避難所生活が続いている人には申し訳ないが、一般市民は自粛ムードを早く収束させてほしい。
	高級レストラン（スタッフ）	・当地域では北海道胆振東部地震による影響はほとんどなかったが、その後のブラックアウトによる影響や風評被害により、じわじわとダメージを受けている。9月に予定していた地域イベントも本来の日程以外で開催されることが決まり、予定外の出費による経費の増大などが懸念される。
	スナック（経営者）	・北海道胆振東部地震の影響で、今後の景気は悪くなる。11月に市長選挙が行われることもマイナスである。
	旅行代理店（従業員）	・観光については国も含めて支援が行われることで一定程度の回復を期待できるが、農業については今後の天候により農作物の生育状況がどうなるか次第である。
	旅行代理店（従業員）	・北海道胆振東部地震という災害が発生したことで、娯楽にお金をかける余裕がなくなっているため、今後の景気はやや悪くなる。
	タクシー運転手	・北海道胆振東部地震後の大規模停電による節電の影響で夜間の人出が極端に落ちている。年内の復調は絶望的である。
	タクシー運転手	・北海道胆振東部地震の影響は大きく、この先の予約もキャンセル連絡が続いている。イベント関連で新しい予約が少しずつ入っているが、前年比でのマイナスは確実である。
	タクシー運転手	・北海道胆振東部地震の影響が長引きそうな気配がある。9月の中旬から新しい予約が少し入ってきているが、先が見えてこない状況であり、このままの売上が続くのではないかと懸念している。
	タクシー運転手	・いつ起きてもおかしくない災害に備えるため、ある程度の備蓄品を買う傾向が強まっており、総体的に日用品の買い控えなどが発生することを懸念している。
	観光名所（従業員）	・北海道胆振東部地震による影響は徐々に収まりつつあるが、風評被害を払拭し、平常時の状態に戻るまで、しばらく時間が掛かりそうである。特に主力の外国人観光客へのPRが浸透するには時間と労力がまだまだ必要である。
	パチンコ店（役員）	・北海道胆振東部地震の影響による物不足が続いているため、今後の景気はやや悪くなる。観光関連は外国人観光客が戻ってこなければかなり厳しい状況となる。
	美容室（経営者）	・北海道胆振東部地震による予定外の支出が発生しているため、支出の優先順位を考慮すると、今後の美容関係の売上は前年よりも減少することになる。ガソリンや灯油の価格高騰が追い打ちをかける可能性もある。
	美容室（経営者）	・来年の消費税増税を前にして、人件費の引上げは避けられないため、今後の景気はやや悪くなる。
×	商店街（代表者）	・これからオフシーズンを迎えることに加えて、北海道胆振東部地震の影響も懸念されるため、今後の景気は悪くなる。
×	コンビニ（エリア担当）	・今夏の天候不順などで米を中心とした農作物の作柄が悪いことから、今後の景気は悪くなる。北海道胆振東部地震の影響により、客の買い渋りが強まることも懸念される。
×	衣料品専門店（店長）	・現状、北海道胆振東部地震の影響でスーツの買換えを控え、その分のお金をインフラ関連の商材に回す流れが強いため、今後の景気は悪くなる。
×	一般レストラン（スタッフ）	・今まで売上のなかで大きな比重を占めていた外国人観光客が北海道胆振東部地震以前の水準に回復するまで2～3か月は掛かりそういため、今後の景気は悪くなる。

	×	観光型ホテル（経営者）	・既に北海道胆振東部地震の風評被害が発生しており、この先3か月の予約キャンセルに伴う損失額が多額に上るため、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・北海道胆振東部地震の影響はまだまだ続きそうである。秋の観光シーズンの観光客の多くがキャンセルとなるなど、北海道経済に2,000億円以上の打撃が生じており、今後しばらくは北海道経済が上向くことは期待できない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・消費はWeb販売などに押されており、住宅着工も一服しているところであることから、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (北海道)		輸送業（営業担当）	・北海道胆振東部地震後の大停電による物流への影響は最小限で済んだが、9月は3連休が2回あったことに加えて、停電に備えた節電要請もあり、月内は物流の多少の混乱が続いている。ただ、物流繁忙期に向かう10月以降は、徐々に回復していくことが期待できる。
		通信業（営業担当）	・国内を中心とした観光需要への支援、応援により北海道胆振東部地震からの復興が進むことに加えて、被害復旧に伴う対策の一時的な増加により、景況感としては現状より上向くことになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・今後については自然災害復旧需要やインフラ補強需要の増加が期待できる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・先行予測数値が毎月上方修正されていることから、商材の動きや引き合いなどが増えている状況にある。また、北海道胆振東部地震の影響で防災用品や設備被害に備える意識が高まっていることから、物流環境が整えば売上は伸びることになる。供給側の問題がない限り順調に推移する。
		食料品製造業（従業員）	・幾つかの新規案件がみられていたことで、やや良くなると考えていたが、北海道胆振東部地震の影響が少し出ているため、景気は変わらない。
		家具製造業（経営者）	・北海道胆振東部地震や天候不順の影響が長引くことが見込まれるため、景気は変わらない。
		建設業（役員）	・北海道胆振東部地震により建設資材の流通が逼迫しており、工事工程の組み直しを余儀なくされる現場が発生するなど、ここにきて建設コストアップの懸念が高まってきた。一方で応急対応や復旧対策での受注増も見込まれる。
		輸送業（支店長）	・海外輸出入、国内移出入のいずれにおいても物流量が好調を維持することを期待できるものの、人手不足、車両不足の改善が依然としてみえてこないことから、利益面では不安視せざるを得ない環境が続く。
		金融業（従業員）	・北海道胆振東部地震の悪影響は徐々に緩和されつつあるが、風評被害の払拭などにはある程度の時間を要することが見込まれる。道内景気は地震のあった9月を底として回復軌道をたどることが見込まれるが、当面は地震の悪影響が残り、現状の水準で推移する。
		司法書士	・地方都市の特徴である人口減少が不動産取引においても悪影響を及ぼしている。今後においても、どの程度回復するかは不透明である。
		司法書士	・北海道経済が回復する兆しが見えてこない。これから冬を迎える当地において暖房は欠かせないが、灯油が安く供給される見込みが皆無であることから、今後しばらくは不動産取引や建物の新築などが低迷することになる。
		コピーサービス業（従業員）	・受注額や受注量が上向いてきている。ただ、景気に直接の影響があるわけではないため、個人の収入が多くなるとまではいえない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・人手不足が解消されるとは到底思えない。人の動きがほとんどないため、中途採用も期待できない。そうかといって初心者の採用ばかりを増やすようになりスキなことでもない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・限定的ではあるが、北海道胆振東部地震による観光面のマイナスと復旧工事のプラスが相殺され、全体としては横ばいで推移する。
		食料品製造業（従業員）	・北海道胆振東部地震の震源地の近くから豚肉などを仕入れているため、地震の影響により原材料の仕入れに影響が出ることを懸念している。
		出版・印刷・同関連産業（従業員）	・北海道胆振東部地震の影響もあり、今後の景気が良くなるイメージを持ってない。
		建設業（経営者）	・今後については官民共に受注は低調になる。工事は最盛期を迎え稼働はピークとなるが、例年人手不足となり、積雪寒冷期とも重なるため、進捗が落ちると同時に採算性も悪くなる。

	建設業（従業員）	・安全なイメージのある北海道で北海道胆振東部地震のような大きな地震が発生したことで、今後、道外からの観光客が減少し、ホテルの建設ラッシュに歯止めが掛かることを懸念している。	
	広告代理店（従業員）	・北海道胆振東部地震の影響により、今後の景気はやや悪くなる。	
	司法書士	・北海道胆振東部地震の被害が震源地のみならず、北海道全域に及んだことに加えて、当地においては稲作の不作も見込まれるため、景気は一層悪化することになる。今後、不動産の建物の受注増加は期待できない。	
	x	-	
雇用 関連 (北海道)	求人情報誌製作会社 (編集者)	・今後は観光客の回復や自粛ムードの緩和など、北海道胆振東部地震からの復興に向けた動きに風向きが変わっていくことが見込まれるが、いつ頃から良くなるかは読めない。ただ、求人数が減っている分、募集に対する人の集まりが多少は良くなるとみている。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	・台風や北海道胆振東部地震の停電による影響が少しずつ回復傾向にあることから、今後についてはやや良くなる。また、これから本格的な収穫期の始まる農業が堅調に推移することもプラスである。	
	人材派遣会社（社員）	・年末まで3か月となり、年末年始商戦に向けた人材ニーズが高まることを見込まれる。また、冬になるまでに売上を確保しようという動きが出てくることで、営業の求人ニーズが一層高まることになる。	
	求人情報誌製作会社 (編集者)	・ブラックアウトから生じた経済的ダメージが一過性のものなのか、影響が長引くのか、現段階では判断が付かない。	
	求人情報誌製作会社 (編集者)	・北海道胆振東部地震の影響で、建築、土木を中心に仕事量が増えるとみられるが、人手不足も重なり、ビジネスチャンスを探す事業所も多いとみられる。一方、スーパーなどの小売では、年金支給日に合わせてイベントを企画することで売上がややプラス傾向にあるが、一昔前と比較すると成長幅は微々たるものであることから、今後も景気は変わらない。	
	職業安定所（職員）	・月間有効求人数が前年を上回る一方で、月間有効求職者が減少する傾向にあるため、しばらくは求人倍率が前年を上回る傾向が続く。	
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率が10か月連続で前年を上回っており、業種によっては人手不足の状況が深刻化している。	
	職業安定所（職員）	・スルメイカの来遊量が前年並みと見込まれ、前年並みの低水準が続く見通しであることから、イカを原料とする加工業者の業況に不安がある。	
	学校 [大学]（就職担当）	・各企業の採用活動の動きをみる限り、前年や一昨年と大きな変化はみられないことから、景気が特段上向くことも下向くこともない。	
	職業安定所（職員）	・9月に道内において発生した北海道胆振東部地震及びその後の停電により、ホテルで宿泊客の予約キャンセルが出ており、今後の雇用に悪影響を及ぼす可能性がある。	
	x	求人情報誌製作会社 (編集者)	・外国人観光客が回復するのは来年の旧正月とみられるため、しばらくはホテル業界、飲食業界などに影響が生じることになる。